

ディアコニア



説教

和解の大切さ

牧師 伊藤 瑞男

だから、あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰ってきて、供え物を献げなさい。

(マタイによる福音書5章23、24節)

ここで「反感」と訳してある語は、口語訳と文語訳では「うらみ」と訳してありました。「うらみ」の方が日本人の心情を表すには適していると思います。「うらみ」の方が根深い感情を意味しているからです。

イエス様は、弟子たちが神さまの前に行って供え物を献げて罪の赦しを得ようとするとき、兄弟(仲間、同胞)が自分に対してうらみを抱いているのを思い出したなら、礼拝を中断して、仲間の所

へ行って、彼と仲直りをしなさい、その後に戻ってきて供え物を献げなさい、と命じられました。

これは何を意味しているでしょうか。

神様に罪を赦していただいて魂の平安を得ることよりも、うらみを抱いている人と和解することを優先しなければならぬ、ということなのです。当時、神さまから罪を赦していただくなら、人から赦してもらわなければならないユダヤ人が多くいたと思われれます。また、人の罪を赦す力は神のみにあり、人にはないと信じていましたから、謝罪しても意味がない、と考えていたとも思われます。現に、クリスチャンでも、「わたしは神様に謝つたから、人に謝らなくてもよい」と言う人がいます。絶対の神を信じている人は、とかく人との関係を軽んじる傾向があると認めざるを得ません。

しかし、イエス様はここで、「仲直り」を要求しておられます。喧嘩していた相手と「和解」するのです。和解のためには、謝罪が必要です。謝罪は罪を赦して下さい、とお願いする意味もあります。が、

基本は自分の罪の告白です。自分が悪かったことを告げるのです。そのとき、相手がたとえ赦してくれなくても、和解は必ず始まります。

勿論、相手のうらみが誤解に基づいていることがあります。そのときにはよく相手の話を聞いて誤解を解く努力をします。うらみを放置しておく、その人との関係が悪化し、もつとひどい争いになるかもしれません。それは相手にとつても、こちらにとつても幸いではありません。イエス様は私たちに幸い、すなわち霊の命を与えようとしておられるのです。

さらに、この「兄弟」が複数で、かつ異邦人である場合も考えねばなりません。イエス様は同胞と異邦人とを区別されませんでした。しかし、ユダヤ人にとつては異邦人は敵でした。敵とは和解などできません。しかし、ユダヤ人にとつては異邦人もこちらも集団、また国と国との対立関係となります。すると、うらみは集団の中では容易に増幅し、戦争につ

なおります。

戦争は最大の罪悪です。なぜなら、平時には殺人は許されないのに、戦時には奨励され、多くを殺した人が称賛されるからです。最大の罪である殺人が奨励されるのであれば、他の罪は問題ではなくなりません。敵は対等の人間として扱われなくなりません。太平洋戦争中日本では「鬼畜米英」のスローガンが叫ばれ、アメリカでは日系アメリカ人が財産を奪われ、強制収容所に入れられました。

さらに、戦争はしばしば非戦闘員を巻き込む全面戦争になり、犠牲者は国民に広がります。第二次世界大戦では、数千万人の命を奪った無差別大量殺戮は、広島・長崎への原爆攻撃によって頂点に達しました。

私は広島市郊外で原爆投下を経験した者として、原爆の被害者とその関係者の心情を想像することができます。それは、悲痛の呻きと叫び、怒り、憎しみ、戦争を始めた責任者たちとそれに加担した自分自身の罪と虚しさの痛悔であり、うら

みはそれらすべてを含んでいます。

広島平和都市記念碑には、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」と彫ってあります。これをつくった広島市は、うらみを乗り越えて、この非戦の誓いに参加するよう、関係者と全世界に呼びかけています。しかし、この碑文は容易には理解されませんでした。反発と論争がくりかえされました。記念碑が壊されたこともありました。

しかし、2016年にオバマ米大統領が米大統領としては初めてこの記念碑の前に立ち、献花、黙祷、演説をしたことにより事態は沈静化へと向かい始めたと言われています。まことに、オバマ大統領の広島訪問は御心に適った和解の行動でした。それは実質的な謝罪行動です。

これに応えて安倍首相は同じ年ハワイ真珠湾の、日本軍攻撃によって撃沈した戦艦アリゾナ記念館を訪れました。こうして、日米間に残っていた不信が大きく癒される出来事となったのです。

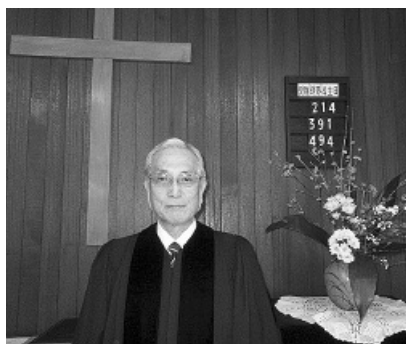
しかし、日本が侵略・支配したアジア諸国との和解はどうでしょうか。十分で

はありません。とりわけ、韓国、北朝鮮、中国との間にはまだうらみが残っています。なお、和解の努力が必要です。私たちは皆、とりわけ神の前に礼拝し、主イエスに聞き従う者は、この和解の務めを自分の持ち場でやりたいと思います。

☆大泉ベテル教会よりご報告☆

大泉ベテル教会は、森田進前牧師が病のため辞任され、無牧の状態でした。この間、小倉和三郎、伊藤瑞男、森史子牧師のご協力をいただいて礼拝を守ることができました。

そして4月1日から坂井賢治牧師をお



迎えます
ること
ができ、
6月17
日に、
就任式
が執り
行われ
ました。

キリストの愛をはこんだ人々2

ヴィルヘルム・レーヘ

1808年2月21日、南フランケンンの小邑フルト(Fürth)にヴィルヘルム・ルーヘ(Wilhelm Löhe)はうまれました。彼の両親は質素な著名人で、敬虔な家庭をもち、その息子をニュールンベルクとエアフルトの大学に学ばせました。

レーヘは牧師になる決心をし、すでに補教師の時代から秀でた才能をしめしました。1837年、その郷里にちかい閑村ノイエンデッテルザウ(Neuendettelsau)の牧師にむかえられ、そこで1872年の死にいたるまで全生涯を奉仕しました。その妻との間に幸福な家庭をもちましたが、はやく死別しました。

「我はひとつの聖なるキリストの教会を信ず」——これが彼の信条でした。彼は教会を深く愛し、その愛が彼の思想と好意を決定しました。まずアメリカへの移民の世話をすることにおいて、彼は表面にでました。彼らが外国に行っても共

に生活し、その言葉や習慣を守り、教会につながりをもつようにと注意しました。特別な関心事は礼拝の典礼についてでありました。聖壇のまえに祈っていると、天上の教会と地上のそれとが結ばれていることを知りました。その著「聖徒の祈りの小さき書」その他によって彼は教会に多くの貢献をしました。



しかしレーヘとノイエンデッテルザウの名を世界にとどろかしたものは、その奉仕女施設であります。その動機もまた教会への愛がもとでありました。初代キリスト教が単純さの中にも重大な奉仕を行っていた、その理想的な姿がレーヘの眼前をさりませんでした。彼は人類の悲惨と要求を見、キリスト教の救いと慈悲

を行わなければならぬと感じました。

1854年5月9日に、レーヘは8人の女子学生と3人の手伝いと共にその仕事をはじめました。1836年にカイザースウェアトに始められたフリートナーの仕事を知ってでありましょう。しかし彼ははじめ、母の家を作ろうとはしませんでした。むしろ婦人の奉仕のための連盟を創設して、到るところに自由に愛を持ち運ばせたいのでした。ノイエンデッテルザウには養成所を建て、教育の後は緩やかな連結をもたせようとしたのです。しかしその考えは実行しがたいものであることをすぐ知りました。奉仕女たちもつと堅固な団結を必要としたのであります。色々な年令の色々な立場の生徒が集まり、多方面の教育をうけました。

最初から教育施設に病院が付属していました。この病人たちが姉妹の教育にたいへん役立ちました。またノイエンデッテルザウ奉仕女母の家ははじめから精神薄弱者の世話をいたしました。レーヘは施設を始めるときに幾人かの薄弱児を交えねばならなかったことを神のやさしき

組合せと思いました。かくて祝福のもとにこの芽は大きく成長したのであります。有名なレーへの「奉仕女の言葉」を知らない奉仕女があまりでしょうか？ そのほか多くの大切な美しい文章を彼はのこし、奉仕女文学の古典とされるにいたつたのであります。その僅かばかりをここに引用してみましよう。

奉仕女の教育

奉仕女は、その生涯をささげて従事する人間的な活動の分野において、最も高く豊かな訓練をきそいはげまねがならない。しかし、奉仕女の訓練は知識や研究だけでは充分でない。むしろ研究にふさわしい成熟とか気質そのものの救いが求められなければならない。強い手と誠実で献身的な意志を熱望するものは、何よりも清い心をもつように心掛け、その心と衷なるものが根底から真に学問の目的を意志と祈祷とによって把握しないかぎり、その天職にかなう教育が出来たと考えてはならない。理念と知識が得られ、清く誠実な力強い善への意志が把握されたとき、第三のものが欠けている。それ

は実際とか応用とかよばれているのである。奉仕女は日常家政のことを模範的にしうるよう訓練され習熟しているといふことが規則とされねばならない。すべての下女が成就していること、それを奉仕女はより気品のある方法でやれねばならぬ。この気品ある典雅さが、凡ての人間の職業において、ことに婦人が祭司的な働きをなすことにおいて、人々にそのことを会得せしめるようなふうには。

上下の秩序

上の秩序と下の秩序——すなわちいねいで穏やかで柔和さのうちにある厳格な指導と、悦ばしく穏やかで柔和さのうちにある誠実な服従——この二つが神聖な規則にしたがい、責任のもとに行われること、そこに凡ての家の、凡ての団体の秩序がある。イエスの婢女よ、あなたがそこから何処へゆこうと、如何なる働き場、如何なる生活環境にゆこうと、先ずそこで行われている規則を問い、最後のちに上におかれた人々に問い、最後にあなたの場所に問え。はじめの二つに生意気をいわず服せ。最後のものを完全

に果せ。ひとりの人がその場所を完全に果さねばならぬ如くに、それで十分である。それが全体のハルモニイに対するその人の音である。そこに謙遜な心の満足がある。それにさからつてあなたの傲慢が擡頭したならば、その悪魔の頭をふみくだいて、神をよび、その喜びの霊をもとめよ。

奉仕

私がもし画家であつたら、デアアコニッセをかこう。彼女たちがあらゆる場所ですべからぬべきか、その姿を……。そうすれば立派な一列の画廊ができるであらう。馬小屋にいるもの、聖壇に立つものの、洗濯場にいるもの、白い慈悲の襟にうきだした頸。教会に、病室に、野に、聖歌隊に。それは薄絹に包まれた乙女ではなく、一人の人格でなければならぬ。何故か？ デアアコニッセは最もひくいことをも卑しめず、また最もたたい婦人の業も、そこなわれないものでなければならぬから。

(エリザベト・フヨリンガー)

1954年8月

施設だより

2018年6月

佐々木 嘉恵

かいた作業所・エマオ開所5年目の初夏の幕開けです。

エマオの一日は、朝9時から。「おはようございます」「元気ですか？」の問いに「ねむい」「トト(父)〇×〇×(怒られた)」「はなみずがです」「おながイタイ」等々……、一人一人が声を出し、その声の様子を聞くことから始まります。

毎日の仕事(作業)は、荷物の開封とバザーの準備。職員は年間着荷数約8千箱に及ぶ寄付品の選別、値振り(寄付品への販売価格の決定)など判断を必要とする作業を行っています。1回のバザーの値札付けは、約4万点に及びます。

利用者の皆さんの主な仕事は、バザー用の衣類をたたんで箱に詰めること、ウエス用はたたんでひもで縛ること——「かいた婦人の村作業2班時代」と同じ仕

事です。ダンボール箱に様々な品物を入れ、日付、春夏秋冬、性別、種類などを書きます。初めは書けなかったり書いてもそっぽを向いていたのに、1年経ち2年経ち、手本を見ながらもだんだん書くようになり、上手になっていきます。

毎週月曜日は

掃除から始まります。各部屋やトイレは、箒や掃除機で大きなゴミを除いて、床を雑巾で拭きあげます。玄関、ベランダ、通路、坂道も箒で掃き打ち水をすることもあります。



掃除に使った雑巾は、洗濯機が使えるようになったSさんが洗濯し、角ハンガーにきれいに干してくれます。

靴の紐が結べなかったのに、結べるようになったり、エプロンの紐が後ろで結

べなかったら、横で結ぶように工夫したり、ダンボール箱を手渡しで運ぶ時に、手が引っ込んでしまっていたのに、重いものが持てるようになったり……と、それぞれ出来るが増えてきました。

支援学校の担当教師も、「支援学校を卒業して、社会に出ると、能力が下降するけど、ここは伸びてゆくからすごいよねー」とおっしゃって下さいます。職員の努力、見守りはもちろんですが、利用者の方々の成長には驚かされ感動すら覚えます。

利用者の方々の中には不安定だったり、パニックを起こすことが多かりたりする方もいます。

エマオに参加されてからも、自己否定感が強く不安定になることが多く、他者へ不満をぶつけてしまう方が、ある日の作業中、号泣しながら少し離れた倉庫から作業場へ走って来ました。

すぐに皆で話し合う時間を持ちました。みんなの口から、「困っている」とか「迷惑だ」とかいう言葉が出てくるのかと思っていたのですが、

「大丈夫だよ、大丈夫だよ。嫌いじゃないよ。」 (Sさん)

「Aちゃん ごめんなさい。Aちゃん ごめんなさい。」 (Yさん)

「Aちゃんのことどう思う？」 「好き」 (心配しているんだよね?) 「うん!」 (Kさん)

「みんなも怒られる。自分で自分を責めないで。みんな助け合っている。自分を見つめよう。」 (Nさん)

「他の場所でも働いている仲間がいる。自分だけじゃない。仲間がいる。」 (一言ずつ囁み締めるように) (Sさん)

「Aさんは明るい。自分は感情を出せないで感情を出せるAさんが羨ましい。」 (Yさん)

——など、利用者さんの口から出る言葉は、本当にやさしかったです。

エマオを利用する方は様々です。大卒の方、国家資格保持者、一般企業で働

ていた方から、特別支援学校新卒者まで。経歴、実績、能力、障害の特性に合わせてた作業や仕事の仕方を考慮していかなくてはと思っています。



6月の職員会では、エマオ4年間の反省と5年目に向けての課題を各自出し合うことになりました。

御寄附いただく品物を有効に活かすためには、盛岡市民福祉バンクのような、ショップを持ちたいと思います。

6月12日のレクリエーションは、館山ヤングボールへボーリングに行きました。4月から新しく仲間になった方は18歳ですが、ボールリングは初体験。周りの様子を見たり、皆の話を聞きながら、慎重にボールを選んでいました。

予約したレーンは、キッズレーンを4レーン。キッズレーンというのはガーターのないレーンで、運が良ければボールはジグザグでも進み、ピンが8本9本と倒れるので、高得点になることもあり。お昼ご飯は、スーパーに行っていました。予算はご飯物が500円、飲み物200円、おやつ300円の合計1000円です。スーパーの駐車場にあるマクドナルドで、600円の『○○セット』を買っていました。

館山中央公園に行つて、桜の木の下の、あちこちのベンチに分かれて、ぺちやくちゃしゃべりながらのピクニック気分。「次はもう少し遠くまで出かけたい」という意見もあり、次は市外まで出かける計画を立てたいと思います。

(かいた作業所エマオ 支援員)

かにたの建て替え

かにた婦人の村

施設長 五十嵐 逸美

建て替え事業について

50周年事業の時に、本紙で紹介した建て替えの計画ですが、本年度着工の予定で計画を進めましたところ、厚労省の予算が付かず、振り出しに戻りました。

福祉施設の建替えに係る補助金は国が1/2、自治体が1/4、法人が1/4とそれぞれが負担する形で支弁されますが、かにたの場合、措置元自治体が、18都道府県と全国にあり、行政権限が地方に移譲した今、国主導で18の自治体をまとめるのは難しく、かなりの労力と時間を要すると思われる、実現が難しく思われたことから、自治体の負担分も含めて、国の特別予算で対応して頂くようお願いしていたところで、厚労省も私共の願いに応えて、財務省と折衝してくださっていました。しかし、財政難の折、新しい予算を特別につけるといことは難しかったようで、

今年度の事業実施には至りませんでした。厚労省からは、改めて都道府県に、措置人数に応じて、自治体負担のお願いと取りまとめをするので、31年度32年度の2か年に渡る事業実施に向けて、新たに計画を提出するようにとの指導を受け、法人として計画書と要望書を4月に提出したところです。

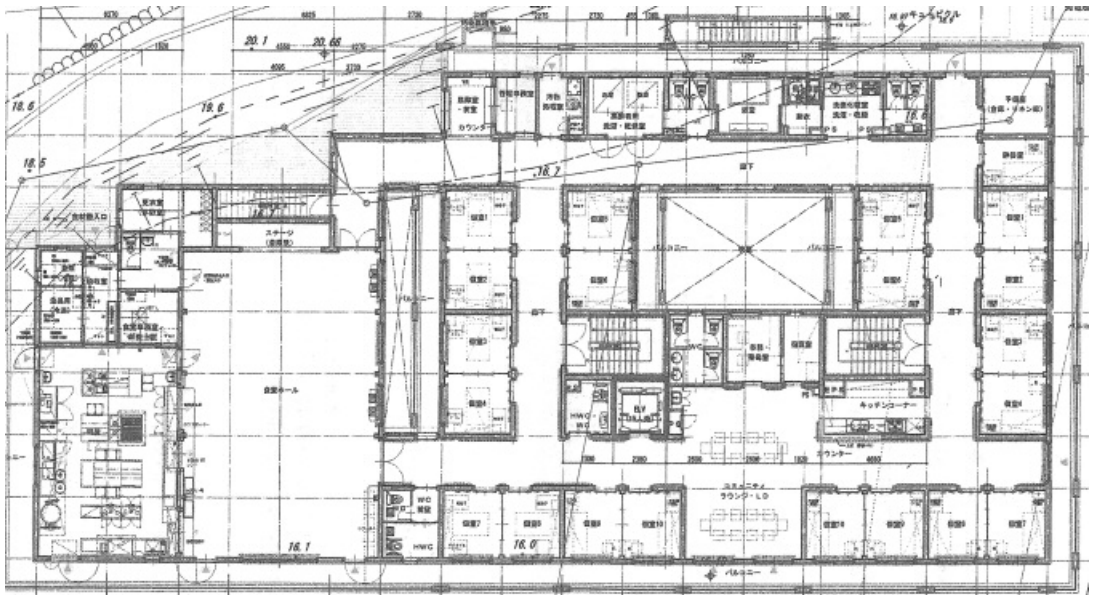
さて、新しい施設の計画ですが、①今までの生活スタイルとあまり変わらない生活空間を作ること、②バリアフリーな建物とし、高齢者の入浴、食事等の移動が楽にできること、③性被害者、DVの被害者、若年の女性など、新しい保護ニーズにも対応できること、の三点に設計の主眼を置きました。①についてはいずみ寮のリフォームに関わってください。関係者の方々の協力を仰ぎ、利用者さんたちから直接意見を出してもらおうワークショップを実施しました。②については、食堂と入浴施設、居住棟が一体となった3階建の施設の設計を考えました。③については、子どもがいる世帯も利用

できる隔離された緊急一時保護スペースを含む、若年性暴力被害者等の支援棟を別棟で設計しました。開設時から長期入所している女性と、今社会的に求められている女性支援のニーズの両方に対応できる施設としてリニューアルしていきたいと考えての建替え計画になっております。基本設計、資金計画等は、ほぼ完成しており、今後は広く皆様に計画を開示し、自己資金充実のための寄付をお願いしていくこととなります。

中長期の婦人保護施設は今後必要で、人によって受けた心の傷は人によってしか癒えず、時間がかかります。知的障害や性暴力によるトラウマなどを起因とする精神疾患を抱える女性の支援に長年関わり、支援ノウハウを蓄積してきたかにただから、また豊かな自然環境を有するかにただからこそできる支援があります。この日本で唯一無二の大事な社会資源を維持するために、皆さまのご協力を頂きたいと切に願います。計画の詳細は、かにた便等でお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。



新しいかにた婦人の村の建物模型
 上段の別棟は若年性暴力被害者等の支援棟



新しいかにた婦人の村 2階平面図（食堂は吹き抜け）

♪あなたのおうまれたこのひをいわい♪
6月23日のお昼、ホームの近くのレスト
ランで、ウタコ姉妹92歳のお誕生日を祝
いました。生憎の雨でしたが、車椅子を
使用の姉妹も車で往復し、お望みの肉料
理とデザートを完食。お店の方のウクレ
レの伴奏で「ハッピーバースデー」を歌っ
てケーキのろうそくを吹き消し：「うれし
くて、言葉がでません」と大きな
声。心打たれたひと言でした。

桜庭歌子の昨今（天羽 道子）

*

「人生五十年」と昔から云われ
ますが、幾たびその瀬戸際まで
行ったことでしょうか。

生きるということは自分の力ではなく、
神様の御心によつて生かされているのだ
と思います。一日一日の生命を頂いて無
駄なく生きることはありがたいことです。
多くの先輩が示して下さっている道を、
小さい者の一人として後に続いていきたく
と思います。梅雨の最中の夕刻、ベテ
スタの庭には、ポツカリと浮びあがるよ
うに月見草が咲いています。小川 都代

週の聖句「疲れた者、重荷を負う者は、

だれでもわたしのもて来なさい。休ま

せてあげよう。」（マタイ11・28）

長い人生の中で現在ほど大変なことは

ない。時々、息苦しく辛い中でみ言葉に

助けられ、新たな力を与えられています。

この恵みを他者と接する時、価なしに

分けてあげたい。 細井 陽子

ささやかな夢を描きてレース編む

レース編む視力の低下覚えつつ

学びつつ考えつつやレース編む

レース編むわが人生の如く編む

つつがなき一日の恵み

レース編む

植木 道子

*

あまりにも痛ましい出
来事が続いています。幼
い児が、将来ある子ども

達が、無残な形でいのちを失い、輝く希

望を奪われてしまっている状況に、一体

世の中どうなっているのと切ない思いで

す。「いのち」が、人の尊厳や人権に対す

る思いが大変稀薄なのは――。

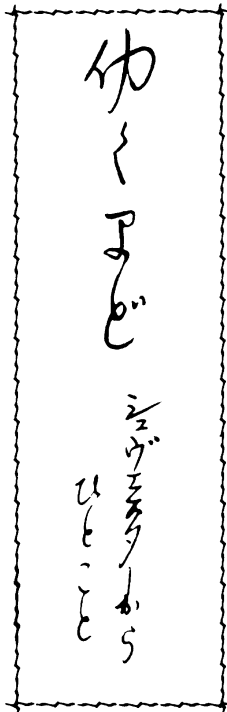
一方、まかり通るウソ、真実が隠蔽さ

れてしまっている今日の政と無関係では

ない気がしてなりません。

真山 知恵子

天羽 道子



2017年度（平成29年度）決算報告書

社会福祉法人ベテスタ奉仕女母の家

勘 定 科 目		決 算 額	
事業活動による収支	収 入	保育事業収入	193,316,710
		就労支援事業収入	16,791,331
		障害福祉サービス等事業収入	16,887,518
		婦人保護事業収入	267,501,558
		借入金利息補助金収入	131,400
		経常経費寄附金収入	104,431,904
		受取利息配当金収入	12,420
		その他の収入	27,642,899
	事業活動収入計 (1)		626,715,740
	支 出	支 出	人件費支出
事業費支出			83,197,398
事務費支出			42,406,332
就労支援事業支出			15,933,498
日中作業支出			3,215,041
支払利息支出			143,892
その他の支出	12,735,869		
事業活動支出計 (2)		529,721,347	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		96,994,393	
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	500,000
		施設整備等寄附金収入	143,000
	施設整備等収入計 (4)		643,000
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	1,644,000
		固定資産取得支出	11,429,048
ファイナンス・リース債務の返済支出		530,064	
施設整備等支出計 (5)		13,603,112	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 12,960,112	
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	10,797,260
			3,495,610
		その他の活動収入計 (7)	14,292,870
	支 出	投資有価証券取得支出	6,000
		積立資産支出	104,554,535
その他の活動支出計 (8)		104,560,535	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 90,267,665	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)		△ 6,233,384	
前 期 末 支 払 資 金 残 高		111,047,257	
当 期 末 支 払 資 金 残 高		104,813,873	

※2017年度事業報告並びに資金収支決算書は、ホームページに公開されています。

おしらせ

★評議員会・理事会の議事内容

第218回理事会

3月31日 於 茂呂塾保育園

【報告】

★新しく細井陽子・小川都代・真山知恵
子3人の祈りの友になられた方を、
心からの感謝をもってご紹介いたします。
吉田やす子姉
〒187-0022
小平市上水本町4-5-9

【審議】

・ 佐々木清業務執行理事の執行状況
・ かにた婦人の村建替え事業進捗状況
・ 東京都指導監査
・ 平成30年度事業計画並びに資金収支
 予算書
—— いずれの議案も承認議決された。
第219回理事会
6月13日 於 茂呂塾保育園

【審議】

6月30日 於 茂呂塾保育園

・ 平成29年度計算書類・財産目録承認
・ 役員報酬総額の件
—— いずれの議案も承認議決された。

主の大いなる御名を賛美いたします。

昨年来、皆様からお寄せいただきました
たご支援に、心から感謝申し上げます。

今後とも引き続き、皆様の日々の祈り
の中にお覚え下さいますよう、お願い申
しあげます。
(村田)

★住所変更

阪本英子姉(旧姓 高澤)

〒101-0032

千代田区岩本町2-18-9-402

★ベテスタの日のご案内

今年のベテスタの日は、創立60周年を
迎えたいずみ寮で開催いたします。みな
さま、どうぞお誘い合わせてお出かけ
ください。

2018年9月22日(土)

いずみ寮・ふかつハウス多目的ホール
にて行います。

11時～13時半 ベテスタの日の集い
14時～16時

いずみ寮創立60周年記念式典

【報告】

・ 平成29年度事業報告
・ 理事長及び業務執行理事の職務執行
 状況の報告

【審議】

・ 平成29年度計算書及び財産目録
・ 経理規程変更
・ 役員報酬総額を評議員会に諮る件
・ 定時評議員会招集の件
—— いずれの議案も承認議決された。

第13回評議委員会

2018年7月15日発行(年3回)

発行人 大沼 昭彦

編集責任者 村田 英彦

印刷所 (株)印刷センター

発行所

〒178-0061

東京都練馬区大泉学園町7-17-30

社会福祉法人ベテスタ奉仕女母の家

電話 03-3924-2238

<http://www.bethesda-dmh.org/>

振替口座001900-2-1338164